

平成 29 年 9 月 21 日

キャリアコンサルティング技能検定 **2 級** 学科・実技（論述・面接）試験 体験記
※ご記入可能な項目だけ記載してください。
2 級受検番号 NO 04S3110065 氏名 Y. S

■ 1 試験に向けた準備の状況

	学科	実技（論述・面接）
いつ頃から始めたか	12 月受検で 9 月より	6 月論述、7 月面接で 5 月より
どのような内容を、どの程度行なったか	e-learning 教材に合わせて、赤本と青本を並行して学習した。	研修を 3 日間と、過去問（論述）、自主ロープレ練習をした。
準備に対する振り返り	過去問をしなかったのですが、過去問をまず試してみて、どのような出題の仕方が把握した上で学習を進めた方が理解度は増すのではないかと思います。	ロープレ練習を沢山したことと、有資格者からのアドバイスを沢山頂いたことが良かった。
*これから受検する人へのアドバイス	赤本をやりつつ青本に戻ることの反復をお勧めします。	ロープレ練習で自分以外の方のロープレや第三者からの意見等を自分に役立てると経験以上に語彙力が増すと思います。

■ 2 論述試験への取り組みです

*各問いの解答を作成する際に、意識したことを教えてください。

【問 1】研修で「答えはクライアントの言葉にしかない」と教わったため、その言葉を言い換えせずキーワードの単語をつなげるよう意識した。

【問 2】研修で教わったポイント「自己理解不足」「仕事・職業理解不足」「長期的なキャリアプラン」「自己肯定感・自己効力感」「コミュニケーション」に合わせて解答するよう気をつけた。

【問 3】教わったとおり、方策を書いてから最後に目標を書いた。時間的にそれが功を奏した。

論述試験対策のポイントを教えてください。

- ・ポイントの単語を押えること。
- ・無駄な言葉を極力省き、必要な言葉を欄内に収めること。

.....

■ 3 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日：7 月 15 日 午後

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

- ・試験設定日が 1 ヶ月ありましたので、真ん中あたりが、面接官もクライアント役も良くない点は改良されてちょうど良い時期かと考えました。

事例番号：3 （田中さん）

■ 4 * 試験の状況：ロールプレイの流れや特徴（基本的態度・関係構築・問題把握・具体的展開）について記述してください。ほかに試験中に意識したこと、相談者の対応などを自由に。

椅子の向きは 45 度くらいを意識して調整した。

時計も目線に入るが自然に見られる位置に移動させた。

守秘義務があるため安心してお話しくださいとお伝えしてから、相談内容を尋ねるという入り方をした。

基本的態度：相談者の方に何でもお話いただきたいという気持ちを、表情や姿勢でみせるよう意識した。

関係構築：あいづち、相談者の気持ちの部分の発言の繰り返し、これまで頑張ってきた部分を承認する言葉をかけることから、よりお話いただけるよう関係構築に努めた。

問題把握：気持ちの発言に奥にある主訴に近づけるヒントがあると思い、気持ちの発言を深ぼりするようにした。しかし、今回のクライアントはよくお話する方で、5つのポイントのどこに本当の問題あるのか見立てが難しかった。

約 15 分位で一旦要約した。言い足りないことはないかと聞いたが、少し「えっ」となられて「ないです」との回答だった。

具体的展開：何を目標とするかの選択肢は複数考えられるなか、私が一番問題だと見立てた転職した場合の職業理解を深める点をまずクライアントに提案したところ、同意を得たため具体的な方策として複数提案した。すべて 20 分内で収めようとせず、あとの可能性は口頭試問で補足しようと最初から考えていたため焦ることなく進められた。

口頭試問：想定通り、①良かった点、改善したい点 ②関係構築はどの程度できたか ③CLの問題、CC 視点の問題 ④他の方策

頭が真っ白になることが想定されたため、①②についてはある程度話す言葉を想定しておいた。他の方策については5つのポイントに合わせて面談中に時間がなくて触れられなかったことをすべて話した。

※ 当会のホームページに掲載させていただきます。

※ 掲載スペースによっていただいた原稿を一部割愛、要約することをご許可ください。

ありがとうございました。